

議長、副議長、監査委員に引き続き、常任委員会、各種審議会等の委員を次のとおり選出しました。

条例に基づく委員会委員

(平成17年4月19日選出) 委員長 副委員長

議会運営委員	五十嵐京子	露口 哲治	遠藤百合子	漢人 明子	小川 和彦	青木ひかる	和田 茂雄	森戸 洋子
常任委員会	総務企画委員	青木ひかる	高木 真人	宮崎 晴光	渡辺 大三	中根 三枝	篠原ひろし	鈴木 洋子
	厚生文教委員	伊藤 隆文	漢人 明子	遠藤百合子	紀 由紀子	小川 和彦	野見山修吉	水上 洋志
	建設環境委員	斎藤 康夫	関根 優司	露口 哲治	村山 秀貴	小山 美香	宮下 誠	五十嵐京子

近隣市と共同で事務を処理するために設けられた一部事務組合の議会議員

昭和病院組合議会議員	和田 茂雄	関根 優司			
二枚橋衛生組合議会議員	小山 美香	伊藤 隆文	宮下 誠	斎藤 康夫	森戸 洋子
湖南衛生組合議会議員	遠藤百合子	野見山修吉	東京都三多摩地域廃棄物広域処分組合議会議員	五十嵐京子	
東京都十一市競輪事業組合議会議員	東京都六市競艇事業組合議会議員	小川 和彦	篠原ひろし		

市長や教育委員会等が設置している各種審議会等の委員

農業委員会委員	高木 真人	宮崎 晴光	渡辺 大三	水上 洋志												
青少年問題協議会委員	宮崎 晴光	紀 由紀子	青木ひかる	篠原ひろし	水上 洋志											
交通安全推進協議会委員	露口 哲治	民生委員推せん会委員	漢人 明子	市民健康づくり審議会委員	森戸 洋子											
国民健康保険運営協議会委員	遠藤百合子	村山 秀貴	小山 美香	和田 茂雄												
都市計画審議会委員	高木 真人	関根 優司	小山 美香	伊藤 隆文	宮下 誠	小川 和彦	青木ひかる	五十嵐京子	和田 茂雄							
消防団運営審議会委員	伊藤 隆文	篠原ひろし	板倉 真也													
小金井市土地開発公社評議員会評議員	露口 哲治	斎藤 康夫	遠藤百合子	野見山修吉	村山 秀貴	五十嵐京子	宮崎 晴光	渡辺 大三	漢人 明子	中根 三枝	紀 由紀子	鈴木 洋子	和 田 茂 雄	関 根 優 司	水 上 洋 志	森 戸 洋 子
三多摩上下水及道路建設促進協議会委員	(第1委員会)野見山修吉 (第2委員会)宮下 誠 (第3委員会)村山 秀貴															

審議した主な議案

平成17年度一般会計予算

平成17年度一般会計予算は、今年2月の第1回定例会において、市長から提案された予算を否決したこと、4月・5月の2か月間の暫定予算となっていました。

このため、本臨時会に市長から第1回定例会に提出した予算案と同じ予算案が改めて提案されました。

19日の本会議では、武蔵小金井駅南口再開発事業関連予算や福祉関係予算など多岐にわたる質疑が行われ、深夜に及んだことから、会期を1日延長しました。

20日の本会議では、質疑終了後、委員会に付託をせず、本会議で直ちに採決を求める即決の動議が提案され、本動議の採決を行った結果、賛成多数(賛成14・反対9)により動議を可決し、本会議で即決することと決定しました。

また、4人の議員から武蔵小金井駅南口再開発事業、東小金井駅北口土地画整理事業関連予算の経費、家庭ごみ

の有料化に伴う経費を削減する内容の予算組替え動議が提出されましたが、本動議の採決を行った結果、賛成少数(賛成7・反対14・退席2)により否決しました。

市長から提出された平成17年度一般会計予算については、採決の結果、賛成多数(賛成14・反対9)により原案のとおり可決しました。

野見山修吉(みどり風)
 本議案に反対する第1の理由は武蔵小金井駅南口再開発事業である。現計画は財政や環境面から問題がある。本予算が可決されても施行者と地権者との関係が悪化する。時間もお金もかかり、その実現性も不確かな現計画を撤回し、市民参加でのまちづくり計画を作り直すべきである。第2の理由は東小金井駅北口画整理事業である。まちづくり協議会での方向性が十分に定まっていないうちに執行すべきでない。

森戸洋子(日本共産党)
 反対する理由は、武蔵小金井駅南口再開発関係予算、市民に多大な負担をおしつけるごみの有料化の経費、住民合意のない東小金井駅北口画整理の経費が含まれているからである。特に武蔵小金井駅南口再開発は、市が10億円近い投資をする、財政の見直しさえ、市は示さない。市民は、特養ホームや保育園の増設などを切実に求めている。計画を見直して、まちづくりも福祉も両方とも充実させるべきである。

宮下 誠(公明党)
 3月の市議選の争点は街づくり予算でした。武蔵小金井駅南口の再開発、そして東小金井駅北口の土地画整理という二つの事業に対して、市議会が予算を通し、地権者や事業者と一体となって進めていくのかどうかという事でした。

1月12日に国土交通省の事業認可が下りた再開発事業の推進を表明する議員が過半数を占める結果が出たことは、街づくりを進める民意の現われです。よって賛成します。

宮崎晴光(民主党)
 この一年間小金井市政は、武蔵小金井駅南口再開発予算を巡って空転し、市民に多大な迷惑をかけた。再開発案そのものには大きな問題点があるためそれを改善すべきであり、またこの予算案には19名の職員再任用も含まれていて行財政改革の面からも賛成しがたいが、東部地区の振興に関する予算も含まれており、その実現を願う立場でもある。市民生活の円滑な推進のため、苦渋の選択としてこの予算案に賛成する。

関根優司(日本共産党)
 反対の理由の第一は、専決

地方税法等の一部が改正されたことに伴い、市税賦課徴収条例の一部(個人の市民税における65歳以上の者の非課税措置を段階的に廃止することなど)を改正するものです。この改正は、市長が市議会を招集する暇がないと認め、専決処分を報告及び承認について市税賦課徴収条例の一部を改正する条例

地方税法等の一部が改正されたことに伴い、市税賦課徴収条例の一部(個人の市民税における65歳以上の者の非課税措置を段階的に廃止することなど)を改正するものです。この改正は、市長が市議会を招集する暇がないと認め、専決処分を報告及び承認について市税賦課徴収条例の一部を改正する条例

地方税法等の一部が改正されたことに伴い、市税賦課徴収条例の一部(個人の市民税における65歳以上の者の非課税措置を段階的に廃止することなど)を改正するものです。この改正は、市長が市議会を招集する暇がないと認め、専決処分を報告及び承認について市税賦課徴収条例の一部を改正する条例

賛成討論(要旨)
 平成17年第一回定例会での一般会計予算審議は、武蔵小金井駅南口再開発予算約32億円の是非が争点であった。結果として、拮抗した議会構成のため議長裁決で否決され、三年連続の暫定予算となっていた。3月27日執行の小金井市議会議員選挙では、街づくりが最大の争点となり、有権者の大勢は駅前整備促進派の候補者に軍配を挙げる民意となった。よって、市民の希望に沿った市長提案の予算に賛成する。

露口哲治(自由民主党)
 3月の市議選の争点は街づくり予算でした。武蔵小金井駅南口の再開発、そして東小金井駅北口の土地画整理という二つの事業に対して、市議会が予算を通し、地権者や事業者と一体となって進めていくのかどうかという事でした。

1月12日に国土交通省の事業認可が下りた再開発事業の推進を表明する議員が過半数を占める結果が出たことは、街づくりを進める民意の現われです。よって賛成します。

賛成討論(要旨)
 この一年間小金井市政は、武蔵小金井駅南口再開発予算を巡って空転し、市民に多大な迷惑をかけた。再開発案そのものには大きな問題点があるためそれを改善すべきであり、またこの予算案には19名の職員再任用も含まれていて行財政改革の面からも賛成しがたいが、東部地区の振興に関する予算も含まれており、その実現を願う立場でもある。市民生活の円滑な推進のため、苦渋の選択としてこの予算案に賛成する。

宮下 誠(公明党)
 3月の市議選の争点は街づくり予算でした。武蔵小金井駅南口の再開発、そして東小金井駅北口の土地画整理という二つの事業に対して、市議会が予算を通し、地権者や事業者と一体となって進めていくのかどうかという事でした。

1月12日に国土交通省の事業認可が下りた再開発事業の推進を表明する議員が過半数を占める結果が出たことは、街づくりを進める民意の現われです。よって賛成します。

宮崎晴光(民主党)
 この一年間小金井市政は、武蔵小金井駅南口再開発予算を巡って空転し、市民に多大な迷惑をかけた。再開発案そのものには大きな問題点があるためそれを改善すべきであり、またこの予算案には19名の職員再任用も含まれていて行財政改革の面からも賛成しがたいが、東部地区の振興に関する予算も含まれており、その実現を願う立場でもある。市民生活の円滑な推進のため、苦渋の選択としてこの予算案に賛成する。

森戸洋子(日本共産党)
 反対する理由は、武蔵小金井駅南口再開発関係予算、市民に多大な負担をおしつけるごみの有料化の経費、住民合意のない東小金井駅北口画整理の経費が含まれているからである。特に武蔵小金井駅南口再開発は、市が10億円近い投資をする、財政の見直しさえ、市は示さない。市民は、特養ホームや保育園の増設などを切実に求めている。計画を見直して、まちづくりも福祉も両方とも充実させるべきである。

野見山修吉(みどり風)
 本議案に反対する第1の理由は武蔵小金井駅南口再開発事業である。現計画は財政や環境面から問題がある。本予算が可決されても施行者と地権者との関係が悪化する。時間もお金もかかり、その実現性も不確かな現計画を撤回し、市民参加でのまちづくり計画を作り直すべきである。第2の理由は東小金井駅北口画整理事業である。まちづくり協議会での方向性が十分に定まっていないうちに執行すべきでない。

反対討論(要旨)
 地方税法等の一部が改正されたことに伴い、市税賦課徴収条例の一部(個人の市民税における65歳以上の者の非課税措置を段階的に廃止することなど)を改正するものです。この改正は、市長が市議会を招集する暇がないと認め、専決処分を報告及び承認について市税賦課徴収条例の一部を改正する条例

議会運営委員会条例の一部を改正する条例

議会運営委員会の委員の定数を9人から8人に減員するため、議員から提出され、原案のとおり可決しました。